

研究例会報告

《第 409 回》

日 時：2026 年 3 月 21 日（土）14：00～16：00

テーマ：大阪公立大学森之宮ライブラリー見学会

会 場：大阪公立大学森之宮キャンパス学舎

（4 階／5 階）森之宮ライブラリー

講 師：伊賀由紀子氏（図書情報担当課長）

参加者：17 名（講師含む）

大阪公立大学森之宮キャンパス開設に伴い、2025 年 9 月 26 日（金）にオープンした「森之宮ライブラリー」¹⁾を、伊賀由紀子氏の案内で見学した。

1. 森之宮キャンパスと森之宮ライブラリー

初めに森之宮キャンパスと森之宮ライブラリーの紹介があった。

大阪公立大学は、2022 年 4 月に大阪府立大学と大阪市立大学が統合して新設された大学である。従来のキャンパスは杉本・中百舌鳥・阿倍野・りんくう・羽曳野の 5 キャンパスであったが、2025 年 9 月 24 日に森之宮キャンパスが開設され、同月末をもって羽曳野キャンパスは閉鎖された。

森之宮キャンパスは現在 13 階建ての 1 期キャンパス 1 学舎のみ。樹形柱とコモレビスクリンがキャンパスを包み込み、緑豊かな大阪城公園と向き合う『知の森』として設計された。樹形柱は枝分れた木のような形をしている柱で、3 階分の吹き抜けのピロティを支え、5 階まで伸びている。森之宮ライブラリーは森之宮キャンパス学舎の 4 階・5 階に設置されている。2026 年度からは全学部・領域の 1 年次生がこの学舎で初年次教育を受けることになる。なおキャンパスの西側には 1.5 期キャンパスの建設が予定されている。

大阪公立大学図書館機構では中央館を設定せず、図書館運営体制では図書受入／雑誌契約は杉本図書館、リポジトリ登録やシステム管理は中百舌鳥図書館などのように、各キャンパス図書館で分業して業務を遂行している。森之宮ライブラリーでは館内の施設管理、書架管理、ILL 依頼、ガイダンスを行っているという事であった。現在はキャンパスとして初めて新入生を受け入れるにあたり、様々なガイドやイベントを鋭意準備中という事である。

2. 森之宮ライブラリー見学

今回は森之宮ライブラリー 4 階メインカウンター側から入館した。4 階は天井が高く作られており、まず目に入るのは曲線の机が配置されたインタラクティブスペースである。メインカウンターやワークスペースの壁も曲線状になっている。また、樹形柱の枝が床から天井に斜めに伸びており、柱の表面は樹皮のように加工されている。インタラクティブスペースに配置された生木、書架に飾られた造木、自由に出られる緑豊かなテラスと合わせ、このライブラリーが森をコンセプトにしていることが感じ取れた。4 階には図書・雑誌書架は少なく、ラーニングコモンズやワークスペース、プロジェクトルームなど、アクティブラーニングを促すような施設が集められていた。なお、大阪公立大学の学生は、大学のアプリからワークスペース等を予約できる。

5 階は開架閲覧スペースと入室自由な書庫、準貴重書庫がある。こちらは 4 階とは異なり、通常の 1 フロアの高さの天井である。落ち着いて学習をする、従来型の図書館に近い印象を受けた。開架書架には、杉本・中百舌鳥・羽曳野から移転されてきた図書が混配されている。入室自由な書庫には電動書架が設置されている。書庫では配置場所が“杉本・史学”や“羽曳野・中百舌鳥”など、移転前の図書館ごとに配置場所が設定されている。

なお、森之宮ライブラリーは開館にあたり IC タグによる図書管理システムを導入し、これによってスマホ貸出が実現した。これも大阪公立大学の図書館としては初の試みである。

3. おわりに

森之宮ライブラリーは教室とも隣接しており、授業期は学生の利用も好調とのこと。2026 年度に大阪公立大学の 1 年次生が入学してきた時、どれくらいライブラリーが活用されるのか、学修支援を行うことができるのか。森之宮ライブラリーが真価を発揮するのはこれからである。今後も引き続き注目したい。

【注】

1) “フロアマップ” . 森之宮ライブラリー . https://www.omu.ac.jp/library/outline/morinomiya/m_overview/index.html, (参照 2026-03-31).

(文責 徳田恵里)